

令和4年度 第1回食育推進会議議事録

(1) 日 時 令和4年7月27日(水) 19:00~20:20

(2) 場 所 佐世保市役所 4階 全員協議会室

(3) 出席者 <委員>

(会長) 松尾 嘉代子委員 川野 香織委員 田中 雅子委員 小松 博子委員  
江頭 毅委員 山口 伸一郎委員 熊本 直樹委員 松尾 修委員  
川崎 奈緒美委員 森山 裕美委員 山崎 翔委員

<事務局>

辻保健福祉部長 前川健康づくり課課長 中島健康づくり課課長補佐

一ノ瀬主査 志方主査 西野主査 半田主査 久保主任技師 辻

(4) 開催目的

佐世保市食育推進計画の実施推進に関し、食育推進実施プラン(第3次・第4次佐世保市食育推進計画に基づく)の進捗管理について、調査審議する。

(5) 会議の目標

第3次佐世保市食育推進計画に基づき実施した令和3年度の進捗状況や取り組み内容について報告し、第4次佐世保市食育推進計画に基づき実施する令和4年度事業について、調査審議する。

(6) 議事1. 第3次佐世保市食育推進計画の食育推進実施プランの令和3年度

進捗状況について

議事2. 第4次佐世保市食育推進計画、計画書などの印刷状況について

議事3. 第4次佐世保市食育推進計画の食育推進実施プランの令和4年度実施計画について

**【事務局】**

開会のあいさつ

情報公開について

事務局代表挨拶(辻保健福祉部長)

資料の確認

会議成立の確認

**【松尾会長】**

皆さんこんばんは。

このコロナ禍が一昨年からスタートして当初は、もう1年ぐらいで収まるのかと思っていましたが、もう今は3年目に突入しております。

そのような中やはり健康づくりの事業というものは日々進めていくということが何よりも重要で、当初はどうしても動くと、感染が広がるんじゃないかということで慎重に慎重に、いろんなものを注視してきましたが、やはりもう3年目になりますと、この感染自体は、人の命に関わることで、慎重にならざるをえないところもありますが、それでも石橋をたたきながら、少しでも皆さんと知恵を出し合って前に進めていければと思っております。

今日そういった中でこのような対面の会議の開催をご準備いただきました事務局の皆様には感謝いたしたいと思います。

それでは今日も時間が限られた中ですので、早速議事の方に移らせていただきたいと思います。本日差し替えとなっております、会次第当日差し替えの分をご確認いただくと、本日は、議事として大きく3つ準備されております。1つ目の第3次佐世保市食育推進計画の食育推進実施プランの令和3年度の進捗状況について、事務局の方からご説明お願いいたします。

**【事務局：健康づくり課 辻】**

資料1、資料2、当日配布資料の令和4年度佐世保市食育推進会議資料に対するご質問等一覧表を用いて説明。

**【松尾会長】**

ありがとうございました。

ただいま、事務局からご説明をいただきましたが、事前にいただいたご質問に対しても併せて、ご回答いただいております。

ただいまの事務局からの説明に関して、何かご質問等、委員の皆様の方からございませんでしょうか。

江頭委員お願いいたします。

**【江頭委員】**

はい。

今の話の流れで最後の説明のあったところから先に意見をさせていただきたいです。

森山委員が指摘された、このホームページを見ている市民は多くないと思う。というのは確かにその通りだと私もそう思います。

特にこのあがっている介護食づくり教室となると、そういう情報を必要としている人達は、おそらく高齢の世代だと思うんです。親を抱えて介護をしている50代、少なくとも40代以上、50代60代70代の人達だと思います。そういう人達が、ホームページアクセスでわざわざその情報を得ようとするかということ、それもまたなかなか難しい部分があると思います。

ですのでQRコードなどをつけてや、情報発信のあり方、デジタルの情報の発信のあり方というのは、工夫が必要かなと思います。

この介護食づくり教室に限らず、いろんなデジタルでの情報発信というやり方が、いろいろあると思いますが、もう今はデジタルの情報を何から得るかということ、ほとんどスマホです。

わざわざパソコンの前でホームページとか検索する人はほとんどいないと思います。スマホでどうやったら引っかかってくるのか。佐世保市が、この食育に関して発信している情報がどうやったらスマホの利用者に引っかかるのか。

例えば、インスタグラムとかいろいろあると思います。そこにタグをつけるとか、私も詳しくはありませんが、市の職員の中にはそういったことに非常に長けている方がいらっしゃると思うんです。特にいろんな若い世代から高齢の世代までいろんな情報発信をする必要がありますので、やり方を工夫して、もう得意な人には、ぜひ参加していただいて、引っかかりやすい、わざわざホームページを訪れなくても、自然にその情報にたどり着くような情報の発信のあり方というのを、工夫していただければいいなと思います。以上です。

【松尾会長】

ありがとうございました。

ただいまのご意見に関して事務局の方から何かコメント等ございませんか。よろしいですか。

【事務局：健康づくり課 辻】

第4次計画の中にも「デジタル化」を進めていくというところで、まだまだ発信の方法は、これから工夫が必要というところなので、アドバイスいただいております。

【松尾会長】

はい。

ありがとうございました。

他にご意見ございませんでしょうか。

江頭委員お願いいたします。

【江頭委員】

資料1の4ページ。上から2段目にあります、歯科保健推進事業の8020認定証発行交付と、いう事業に対して、3次として目標値が24人であったところが10人で、達成率が41.7%ということになっております。

これは、成人歯科健診を受診された方、いわゆるその受診者という母数そのものが少なかったということでしょうか。

【事務局：健康づくり課 志方】

母数自体が少ないというのもあります。やはりコロナ禍でもあったので、歯科を受診する方が少なくなった。というのも一つ原因ではないかなと思っております。

【江頭委員】

わかりました。

【松尾会長】

よろしいですかね。ありがとうございます。

他にご質問等ございませんでしょうか。

それでは、ただいまの議題1に関しては、こちらで終了したいと思います。それでは、次の議題2について、第4次佐世保市食育推進計画計画書等の印刷状況について、事務局の方からご説明お願いいたします。

【事務局：健康づくり課 辻】

第4次佐世保市食育推進計画の計画書と概要版を用いて説明。

【松尾会長】

はい。ありがとうございました。

昨年、委員の皆様にもご検討いただきました内容で非常にわかりやすい計画書と概要版ができたのではないかなと思っております。

こちらの計画書概要版に関して委員の皆様から何かお尋ねされたいことなどございませんでしょうか。

よろしいですか。

この概要版は例えばどこかの団体に配りたいとか、少し部数余分に欲しいということがありましたら、事務局の方に申し出てよろしいのでしょうか。

**【事務局：健康づくり課 辻】**

概要版は、2万部印刷をしておりますので、関係するところでぜひ使っていただければと思います。

**【松尾会長】**

わかりました。

それでは委員の皆様も何か活動の折に配布できるような場所などありましたらどうぞ。事務局の方に申し出ていただければと思います。ありがとうございます。

それでは次の議事に移らせていただきます。

議事の3つ目になりますが、第4次佐世保市食育推進計画の食育推進実施プランの令和4年度の実施計画について事務局の方からご説明お願いいたします。

**【事務局：健康づくり課 久保】**

資料3と参考資料、第4次佐世保市食育推進計画の計画書を用いて説明。

**【松尾会長】**

はい。ありがとうございました。

ただいま事務局の方から第4次の佐世保食育推進計画の実施プランと、実施計画について説明がありました。

また、委員の皆様の方から寄せられました事前の質問に関しても回答がございましたが、これらの内容に関して、委員の皆様の方からご意見ご質問ございませんでしょうか。

江頭委員お願いいたします。

**【江頭委員】**

私の質問を取り上げていただいてありがとうございます。それに関して補足と申しますか、お話をさせていただきます。

私が思っているイメージがどういうものかということですが、本当は、教室に生産者の方が直接来ていただいて、この食材の説明するとか、子どもたちと話をするところが一番いいんでしょうけども、ちょっと今の時代それは無理かなと思います。

逆に、Webで生産者の生産の現場と教室をオンラインでつないで、直接生産者の方からその食材についてのお話を聞く事で、子供たちも質問すると、そういった交流が逆にデジタルだからこそしやすくなるんじゃないかなというふうに思います。

それで、そういった事業を、午前中にやってその食材を使った給食が出てくるということになると、子どもたちの食材に対するイメージがすごく豊かになると思うんです。

それと、学校で「生産者の人の話聞いたよ」、「それ食べたら美味しかったよ」と自宅でも話すと思うんですよね。

そうすると家庭でも、今度買って使ってみようか。というふうな話になっていく。そういったことで食育というものが家庭の中にも広がっていく可能性があるんじゃないかなというふうに思っ  
て、提案させていただきました。

もう一つ、デジタルがいいことは、複数の学校を同時にできるということです。生産者の方は一ヶ所であっても、いくつかの学校はオンラインであればつなげますので、それで同時に複数の学校で同じ授業が受けられる様にすれば、かなり効率よくそういった情報の伝達、やりとりができるのではないかなというふうに思いました。以上です。

#### 【松尾会長】

ありがとうございました。

ただいまご意見いただきました内容に関して、よろしければ教育関係の方々の方から、ご意見とか現状、実際そういうふうな食育活動が可能なのかということで、よろしければ小学校の方それから中学校の方、ご意見いただければと思うんですけど、お願いいたします。

#### 【山口 伸一郎委員】

失礼します小学校から来ております山口と申します。

私は吉井南小学校というところに勤めています。今江頭委員がおっしゃったように、吉井産の特産品の食材が結構たくさんあるところで、メロンやいちごも有名ですし、お野菜もたくさん作ってらっしゃる方が、保護者の方の中にもいらっしゃいます。

農業団体の方がやっぱりいらっしゃいますので、私の学校では総合的な学習というところの勉強の中で主に、カリキュラムを作成して、3年生以上その前の1年生の生活科がありますので、かなり協力をしていただいて、デジタルではなくて実際の実物として、触れるとか、お話を聞く、もしくは見学に行かせていただく、講師の方に来ていただく両方を可能な限りやらせていただいている状況です。

実際給食の中にも、献立の中に吉井産のメロンとかが出て参りますので、そういうところでも子供たちの意識も高まるかなというのは、実際、現場にいて感じているところです。

ただ、それが佐世保市内のすべての小学校において、環境的にそういうことが可能なのかというところ。現状では学校の身近な環境の中で、学習教材をいろいろなところに結びつけて、各学校が工夫して実施しているというところが強いかなと思いますので、それが佐世保市内の学校、押しなべて食育というところで高めていくという部分を考えると、やっぱり行政の方のリーダーシップとか、そういうところももっと必要になる部分があるのか。それは可能なのか。というところ。

私も今自分の中では整理がつかないところなんです。本校の活動の方を主に紹介させていただきました。ここに繋がる部分は本校では環境が整っているというところがありますので、今後も高めていければなというふうに思っているところです。

**【松尾会長】**

ありがとうございます。

それでは熊本委員の方から、中学校の取り組み等がありましたらお願いいたします。

**【熊本委員】**

はい。中学校の熊本です。

宮中学校というところに勤務しております、こちらも非常に農業が中心の地域になります。いわゆる特産物といえますか、たくさんありますが、小学校ともちょっと違うのかもしれませんが、地元のそういった特産物・産物であったりというようなことが、あまり食育というとらえ方をしていないです。どちらかというと、そういうものを生産している人に敬意を表するというので、いわゆるキャリア教育であるとか、郷土愛・地元愛であるというような考え方をしているのが、多分中学校は現状じゃないのかなというふうに考えています。

なかなか中学校の給食は、現状としては非常に厳しい、時間も短くて、なかなか大変なんですけれども、もう準備して早く食べて。というような形で、およそ7分で食べます。中学生はですね。そうしないと回収に間に合わないんです。非常に厳しい状況にあります。中学校としては、ここに、計画の方にこの学校給食で地場産物を使用する割合の増加という目標載っていますが、おそらく中学校としては、たとえ地元の産物が仮に10%になっても5%になっても、やはり一生懸命生産していただいた人であったり、一生懸命作ってくださる方であったり、そういったところに感謝して食べようね。というふうに食育というのはとらえているんじゃないのかなというふうに考えます。以上です。

**【松尾会長】**

ありがとうございました。

江頭委員の方からご質問いただいた内容に関しては、各小学校中学校の児童・生徒に向けての食育指導の全体計画を作成するというのが、事業の内容として上がっております。その具体的な内容を、各学校でどのように食育推進されるかというのがやはりどうしても地域特性があり、同じ市内であっても郡部とか中心部でいろいろと変わってくるということもあるかと思っておりますので、そういったところで、今ご報告いただきました委員の先生方の地元では、特徴的な取り組みをなさっているということでしたけれども、行政としてその部分を今後どのようにとらえていくかという何かご意見等、事務局の方でございましたらお願いいたします。

**【事務局：健康づくり課 前川】**

はい。

貴重なご意見ありがとうございました。

担当課が学校保健課ということでございますので、この今いただいた意見については、担当課の方にもお知らせをいたしまして、できるところは積極的に取り組んでいくということで、次年度に向けて検討させていただきたいと思っております。ありがとうございます。

**【松尾会長】**

ありがとうございました。

それでは他にご意見等ございませんでしょうか。

#### 【江頭委員】

資料3の3ページの、嚙ミング30の中の番号20、8020認定証発行交付事業についてですが、前回のこの席で、もう8020達成者は5割を超えていますよ。という話はしたと思うんです。ほどなく6割に達すると思います。それで、その令和4年度の事業目標として24人というのは、佐世保市の80歳以上の中の半分は20本持っているわけですね。それに対して、24人、どうなんだろうと感じます。

それはそれとして、皆さんにお伝えしたい情報と提案がございます。

お伝えしたい情報は、この8020達成者がもう過半数になっているということは非常に喜ばしいことで、高齢になっても自分の口でしっかり食べ物を味わいながら食べられる、そのことが、以前お話したサルコペニアの予防にも繋がるわけです。これ自体はとても素晴らしいことです。一方、超高齢化社会に日本が突入していますので、平均寿命はどんどん伸びています。その中で問題なのが、健康寿命との乖離もどんどん広がっています。平均寿命がどんどん伸びているけど、健康寿命はそんなに伸びていかない。なので、健康寿命じゃなくなってから死ぬまでの年数がどんどん伸びていっている。

つまり要介護・要支援の状態ですとずっと過ごす方が増えているということです。ここで問題になるのが、せつかく80歳まで20本以上の歯を残した方、その方が例えば認知症とかの要介護状態になった場合、その方の口のケアができなくなってしまうということです。自分ではもうケアできないのです。

そういう方は、誰かがやってあげないとはいけませんが、なかなかそこに気づかないということで、実はたくさん歯を残してあって、要介護状態になった方の口の中は非常に悲惨な状態に今後なっていくと思います。そこが一番問題なのです。

なので、この8020まで達成者を表彰するのもいいですが、その8020達成した人ほどその後のケアに気をつけなければいけない。という問題があります。

もちろん、歯科医師の仕事でもあるんですけども、そこで提案ですが、この8020表彰ですね、目標24人の方だけにお伝えしても仕方がないので、例えば成人歯科健診の案内の時に、今私がお話したような、たくさん歯を残してもそのまま高齢者になった場合、いろんなトラブルが起こる可能性がありますよ。お口の中で大変なことになりますよ。だから、定期的に歯科を受診してくださいね。というそういう情報、メッセージを成人歯科健診とあわせて、対象者に伝えていただきたいと思います。

具体的にその内容とかは歯科医師会に相談していただければいいと思いますが、今後そういった取り組みも、必要になってくると思います。本当に、ご自身の歯がたくさん残っているにもかかわらず、それがもうものすごく大変なことになっている。という方もやっぱり増えてきています。ちゃんとおいしい食事を死ぬまで食べるためには、ケアしていかないといけない部分かなというふうに思います。

以上です。

#### 【松尾会長】

ありがとうございました。

ただいまのご提案に関して、事務局の方から何かご意見等あればお願いいたします。

**【事務局：健康づくり課 志方】**

今のご意見ありがとうございました。

ただいま成人歯科健診のチラシを健康づくり課で作成して市民の方にもお渡ししていますが、毎年、情報をコラム的な感じでチラシに載せています。

今年度はオーラルフレイルについて、お口の衰えというのが、どういうふうに要介護状態に繋がっていくかというのを載せて、80歳以上の方で20本歯が残っている方は、8020の認定証ももらえますよ。ということで伝えております。

歯が残っている方は、やはり口に対する意識が高い方がいらっしゃって、高いというのもあり、健康状態もいい方が多いので、それを目指しましょうという形で啓発しています。なので、要介護状態にならないようにということは、オーラルフレイルについて、皆さんに周知をしていくことによって、また変わっていくんじゃないかなというのは感じています。

ありがとうございます。

**【松尾会長】**

ありがとうございました。

そういう周知の機会がえられるようですので、また今後、歯科医師会にもご相談されながら進めていただければと思います。

ありがとうございます。

それでは、他にご意見等、よろしかったでしょうか。

**【山口 伸一郎委員】**

ちょっと話がまた変わってしまうのかもしれませんが、参考資料の方に朝食の欠食についてというところで、子供たちに関する部分がありますので見ていますが、特に小学生ですね。中学生は現状と調査結果を比べた時に、評価が△となっていますが、小学生2年生・5年生についてはどちらも×がついている。

数値的には悪くなっていると思いますが、やっぱり子供たちを見ている生活習慣の乱れとか、特に、最近でもスマホとかゲーム関係もありますし、早寝早起きという昔から言われていますけど、なかなかそういうところが、昔から比べていくとだんだん環境的に悪くなっていると思います。

それを学校としては、直接子供たちにも指導はしますが、特に今夏休みに入っていますので、その前にも事前指導とかします、やっぱり親御さんに対してもいろんな形で啓発を試みます。学校保健委員会ですとか参観日の後、等にメディア関係の講習会を計画して保護者の方に聞いてもらう。

そういうところを生活習慣に関連づけたりと、いろんな形で啓発を行いますが、なかなか厳しい現状があるなど私自身もずっと思っていますし、今後もさらに悪くなる可能性の方が高いのかなというふうなところもちょっと危惧しているところがあります。

学校としても粘り強くそういうところをしていかなければいけないな。と思っていますが、関係課の方もそこら辺のところを見られて、今後の取り組みとかそういうふうな思いという部分が今現在であられるものかこれからなのか。実際にどういうふうな、形でその辺を改善していけばいいのかというところに対して、どんな感じで視点を持ってらっしゃるのかなというのをもしあれば、教えてい

ただければと思います。

**【松尾会長】**

ありがとうございます。

ただいまのご提案、ご質問に関して事務局の方から、現在、何かお答えできるもの。もしくは、今後検討されているものがありましたらお願いいたします。

**【事務局：健康づくり課 辻】**

現在対応できるものとしましては、資料3の番号4にまちづくり出前講座というのがあります。そちらに食育のライフステージ毎のメニューを挙げておりまして、保護者・PTA向けの内容で話をするような、メニューも設けていますが、出前講座なので依頼があってから伺うというところで、ここ数年は小学校・中学校の保護者向けの話の実績はないという状況です。

令和元年には小学校・中学校それぞれPTAの方から依頼がありまして、朝ご飯を食べる事や自分で簡単にできる内容の朝ご飯についての紹介をした実績はあります。

今後ですが、資料3の番号5のところ「食育意識啓発・普及」のところ、様々なライフステージというところで、今取り組みをしているところは、乳幼児健診に来られる保護者の方にも主食・主菜・副菜食べていますか。という確認をしているところです。そのままお子さんが大きくなっていったからも、継続していけるといいか。というところになりますので、引き続き様々な年代の方に応じた情報提供を何らかしていきたいというところが現状でございます。

**【松尾会長】**

ありがとうございました。

このような事業も活用しながら、市民の皆さんに普及啓発していただければと思います。

それでは他にご質問等なければ、次に移らせていただきたいと思います。

よろしいですか。

今回の議事ではありませんけれども、その他の事項として事務局からの紹介がありますので、事務局の方からご説明お願いいたします。

**【事務局：健康づくり課 辻】**

毎月8日は「減塩・野菜の日」ということで、チラシを1枚お配りしております。

毎月19日は食育の日ですが、毎月8日は、減塩・野菜の日と長崎県の取り組みの中で制定されたそうですので紹介します。

長崎県の主な健康課題として、「血圧の高さ」及び「喫煙率の高さ」があるということで、その健康課題を解決に向けて、「食事」、「運動」、「喫煙」、「健診」の4点について、皆さん一緒に長崎健康革命を始めましょう。ということで、令和3年度までの、長崎3MYチャレンジに代わって、長崎健康革命ということで、取り組みを推進していくそうです。

食事については、毎日プラス1皿の野菜、減らそう塩分という目標設定をしております、このチラシは長崎県国保・健康増進課が作成されております。

毎月8日を減塩・野菜の日として制定して、県民一人一人が、野菜(8)と、野菜を食べるということをいつもより意識して、1日当たりの食塩の目標を健康ながさき21の、1日8グラム未満

というところで、美味しく適塩を心がけるようにメッセージを発信していくというところでは。

今後、佐世保市のホームページ上にも掲載をしたり、様々な機会をとらえて、減塩・野菜の日についても啓発をしていきたいと思っております。

皆様の所属先でチラシの活用や、啓発が可能でしたらお声がけいただければと思います。  
以上です。

#### 【松尾会長】

はい。

ありがとうございました。

ぜひ、県の取り組みの事業として、この減塩と野菜の日の取り組みを普及していただければと思います。

ありがとうございました。

他にございませんでしょうか。

川野委員の方からですかね。チラシが一つ。ご紹介いただいてもよろしいでしょうか。

#### 【川野委員】

はい。国際大学の川野と申します。

本学で行う講座の案内をさせていただきます。1枚追加でお配りしているチラシになりますが、タイトルにありますように『家族で考える災害食～学童期編～』としまして、小学生とその保護者を対象に夏休み期間であります8月20日に開催を予定しております。

内容としましては、災害のために普段から備えておきたい食品と災害時の簡単クッキングとしまして、パッククッキングと言いますが森山委員も十分ご存知だと思いますが、熱に強い袋と水とよくある食材を使って、調理の体験をするということでライフラインが途絶えても、こういうふうに簡単に食べることを確保できるよということを体験してもらおうと思っております。

コロナ禍ですので、試食を持ち帰りで行うことや、参加者を制限するということが開催を予定しております。申し込みは電話やホームページということで裏面に記載しております。

関係者や関係機関の方に周知をいただけますと幸いです。

また、本学で今年の方針としまして、参加する人の安全を確保するということが前提として、子供を対象にした例えばキッズキャンパスとか、いろいろ開催を予定しておりますので、ホームページを定期的に見ていただければと思っております。お時間いただきましてありがとうございます。よろしく願いいたします。

#### 【松尾会長】

それではもう時間も迫って参りました。本来ならばすべての委員の皆様にご意見等、伺えればよかったのですが、進行が不十分で申しわけございませんでした。

本日、令和4年度の食育推進会議でしたが、また新たな局面としてコロナ禍と共存しながらの食育というものになっていくかと思えます。

今日提案もありましたデジタル食育の推進ですとかありましたが、やはり人の体の発達・発育というのは大きくは変わりません。ですからやはり、やるべきライフステージに適切な食育を行って、健康な成人を育てていく、または、高齢者に向けては新たな局面でこれまでにない超高齢化を迎え

ている中でどのような食育が必要なのかということ、関係者と意見を交換しながら今後も食育を進めていければと思っておりますので、また今後とも、委員の皆様のご協力、ご指導をよろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、私の方で、議事はこれで終了させていただきたいと思ひます。どうも、進行にご協力をいただきましてありがとうございました。

それでは事務局の方にお返しします。

**【事務局：健康づくり課 前川】**

松尾会長ありがとうございました。

本日はお忙しい中、会議にご出席いただきまして、ありがとうございました。

本日会議の中で、事業の説明等させていただいたわけですが、貴重な意見をいただきまして、情報発信のあり方とか、事業の周知の方法についてというところで、市民の皆様に対する意識改革といひますか、そういうところが重要になってくると思ひておひます。

令和4年度からの推進計画につきましては、目標達成に向けてこの辺を検討いたしまして、事業を実施していきたくと思ひておひますので、引き続き委員の皆様方には、ご協力をお願ひしたいと思ひます。

以上をもちまして、令和4年度第1回佐世保市所食育推進会議を閉会いたします。

ありがとうございました。